

小林直毅 社会学部教授 最終講義

[講演と対談] 水俣、いのちと記憶のつながり

講演： 小林直毅（法政大学社会学部教授）

対談のお客さま： 田中優子（法政大学名誉教授）

司会： 鈴木智之（法政大学社会学部教授）

日時： 2026年2月28日（土）午後2～4時

場所： 法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート 401教室



水俣を見つめ、耳を澄ますと、いのちのつながりと、それが断ち切られる受難のさまざまな相貌が立ち現れてくる。そうした経験は、小さな内海の不知火海の浜辺に佇んだときだけのものではない。渚の数多の生を語り、描いた世界もまた、いのちと記憶のつながりを生み出しているからだ。

水俣には、「近代」の在り様も、この国の姿も、「メディア」とよび習わされる現象までもが、いきものの身体と記憶が紡ぐ経糸緯糸となって織り重ねられていく。束の間ではあるが、水俣の「もうひとつのこの世」を読み解き、語り合う場としたい。

事前申込み不要

問い合わせ先：社会学部事務課 phone 042-783-2379